

様式1. 日本先天異常学会関連学術集会 筆頭発表者の利益相反自己申告書

日本先天異常学会 理事長 殿

発表学会名：_____

申告者（筆頭発表者）氏名：_____

演題名：_____

筆頭発表者が、抄録登録時に登録前の過去3年間における発表演題に関連する企業との利益相反状態にある場合には、その内容を記入して学会事務局に郵送する。封書には「利益相反自己申告書在中」と明記する。

項 目	該当の状況	該当のある場合、企業・団体名等
① 1つの企業・団体からの役員、顧問職としての報酬額が年間100万円以上	有 ・ 無	
② 1つの企業の1年間の株式による利益が100万円以上,あるいは当該全株式の5%以上を所有	有 ・ 無	
③ 1つの企業・団体からの特許使用料が年間100万円以上	有 ・ 無	
④ 1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑤ 1つの企業・団体からの原稿料が年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑥ 1つの企業・団体からの研究費（受託研究費、奨学寄付金、委任経理金など）の総額がそれぞれ年間100万円以上、または寄付講座の所属	有 ・ 無	
⑦ 1つの企業・団体からの報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）が年間5万円以上	有 ・ 無	

日付（西暦） _____年_____月_____日 申告者署名_____